

# 内分泌学的検査

項目コード 株コード	検査項目 (グループコード)	検体必要量 (mL)	容器 保存方法 (安定性)	検査方法	基準値・単位	所要 日数	実施料 判断料	備 考
<b>副甲状腺関連検査</b>								
191 4C035	カルシトニン 5018	血清 0.3	A1 ↓ G-1 凍結	RIA法	表1参照 pg/mL	4 } 9	143 生化II	* G
1020 4C015	HS-PTH (高感度PTH) 5129	血清 0.5	A1-1 冷蔵	RIA法	0.16~0.52 ng/mL	3 } 6		* G
190 4C025	PTH-Intanct 5088	血漿 0.4	E-1 冷蔵	ECLIA法	10~65 pg/mL	2 } 4	180 生化II	血清(凍結)による検査も可能で す。但し、急速凝固管のご使用 は避け下さい。
2736 4C025	Whole-PTH 5746	血漿 0.5	E-2 ↓ G 凍結	IRMA法	9.0~39.0 pg/mL	3 } 6		* G
4388 4C034	副甲状腺ホルモン関連蛋白 (PTHrP) 5884	血漿 0.5	ネ ↓ G 凍結	IRMA法	1.1以下 pmol/L	7 } 9	194 生化II	高カルシウム血症の鑑別並 びに悪性腫瘍に伴う高カル シウム血症に対する治療効 果の判定のために測定した 場合のみ算定する。 * 4

(表1) カルシトニン基準値(単位: pg/mL)

年齢(歳)	男性	女性
20 ~ 29	34.4 ~ 89.2	29.4 ~ 68.6
30 ~ 49	30.9 ~ 120.1	17.1 ~ 58.7
50 ~ 69	16.6 ~ 95.4	21.6 ~ 54.0
70 ~ 90	26.2 ~ 49.0	17.0 ~ 55.8

 <b>G-1</b> 血清分離 (必ず凍結保存) ポリ試験管使用	 <b>ネ</b> 採血後、静かに 約10回ほど転倒混和 (低温にて血漿分離、 必ず凍結保存) (保存はポリ試験管使 用)	 <b>E-1</b> 採血後静かに約10 回ほど転倒混和 そのまま冷蔵保存 (凍結不可)	 <b>A1-1</b> 血清分離 冷蔵保存
<b>G-5</b> 冷所に24時間蓄尿 尿量測定、混和 必要量を提出 (尿量明記) (必ず凍結保存)	EDTA-2Na 5mL用	<b>E-2</b> 採血後静かに約10 回ほど転倒混和 (低温にて血漿分離、 必ず凍結保存) 保存はポリ試験管使 用	

必ず必ず